

平成30年度第3回印西市総合計画審議会会議 会議録

- 1 開催日時 平成31年3月19日（火）午前10時00分～午前11時40分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、柴崎達夫 委員、五十嵐新一 委員
海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員、青木和浩 委員
熊谷公 委員、山本昭信 委員、田波英俊 委員、高橋定一 委員
大竹たまい 委員、安達卓俊 委員
- 4 欠席者 吉野康夫 委員
- 5 事務局 企画政策課：齊藤課長補佐、海老原係長、金子主査、中島主査
- 6 傍聴者 無し
- 7 議 事 （1）第8次実施計画事業について
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

【議 事】

吉村会長： 議事（1）第8次実施計画事業について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（1）第8次実施計画事業について
ご意見ご質問を伺います。

海老原委員： 都市再生機構事務用地の活用について、以前市長が第2福祉センターの
ような施設と言っていましたがどのような施設を整備する予定ですか。

事務局： 現在のところ、施設整備方針を策定しておりまして、その中で福祉と芸術
文化の複合施設としています。具体的な内容は今後策定する基本計画で決定
することとなります。

海老原委員： スポーツ・レクリエーション施設整備事業の（仮称）スポーツ広場で整備
する施設はどのくらいの規模ですか。

事務局： フットサルコート2面とペタンクコート7面を整備する予定と聞いています。

菊地委員： 印旛中央地区の都市的土地利用の促進について、事業実施等の動きはありますか。

事務局： 現在のところ、事業者等の引き合いはないものと思われます。

安達委員： 総務省の地方制度調査会で議論となっている2040年問題と市のブランド向上についてはどのように考えていますか。

事務局： 印西市は、民間出版社の「住みよさランキング」で7年連続全国1位となっていて、市のブランド向上については、シティプロモーション課を新たに設け、市の知名度アップのためのプロモーションビデオ等により市の情報発信の取組みを実施しているところです。

人口減少問題（2040年問題）は、子育て世代をターゲットにして子育て対策等に重点を置いて実施しているところです。課題としては若者の流出があります。

安達委員： 若者の流出を防ぐことは大切です。民間出版社の「住みよさランキング」で7年連続全国1位について市はどのように考えていますか。

事務局： 「住みよさランキング」につきましては、主に千葉ニュータウン区域内の住環境からの結果であると考えています。

安達委員： ニュータウン区域内のようなことを区域外にも広めていけばもっと良い街になると思いますか。

事務局： 「住みよさランキング」の指標で考えればそのように考えられます。

柴崎委員： 印西市はいつも「住みよさランキング」1位。いつもそれだけで終わってしまう。もっとマスコミ等を活用してアピールする施策を工夫した方が良い。

安達委員： シティーセールス専門の職員を公募等により外部から臨時的に雇用することも考えられます。

事務局： シティプロモーション課では、知名度アップに向けて委託等を実施しています。

海老原委員： 2年前に永治小学校が閉校となり、今年の本埜第一小学校と本埜第二小学校とが統合され、宗像小学校が閉校となりますが、跡地活用が進んでいない状況となっている。早く活用を考える必要があると思います。

事務局： 先日開催しました地域審議会においてもそのような意見をいただいております。跡地活用について担当課に申し伝えます。

篠田委員： 主要地方道千葉竜ヶ崎線バイパス（コスモス通り）の整備が遅れている。現在の千葉竜ヶ崎線は歩道が無く大変危険な箇所があるので早急に整備すべき。

山本委員： 市街化調整区域が40戸連坦により乱開発になりつつあります。空家の問題や植栽の管理の課題等も積極的に対応すべき。

事務局： 印西牧の原駅の南側の市街化調整区域で40戸連坦により開発が進んでいる状況にあります。

植栽の管理の課題につきましては、景観条例の方で対応することになるかどうか持ち帰り確認したいと思います。

吉村会長： 空家の問題ですが、問題は家屋や植栽等の管理であり、個人の資産であるため難しい問題であると思います。印西市ではどのように対応していますか。

事務局： 市が確認している空家は多数ありますが、相続人と連絡がとれていない場合もある状況です。

高橋委員： 地籍調査の工区の地区分けと待機児童数を確認させていただきたい。

- 事務局： 第1工区は鹿黒地区です。その他の工区は把握していません。
- 平成30年4月1日時点の待機児童は131人です。平成31年度に3園開園しても待機児童は解消されず、平成32年度の5園開園で解消できると思われま
- す。
- 大竹委員： 印西市の子育ては充実していると感じています。ただ、それはニュータウン区域のことで、区域外は不足していると思います。保育園の配置も将来を想定して考えていただきたい。
- 仕事ではサービス業が多くなっているため、日曜日
- も開園している保育園の需要が多くなっていますので、そのようなことも考慮した保育園運営をしたほうが「住みよい街日本一」として人口増加につながると思
- います。
- 子育て支援の人材についても更に充実すると良いと思
- います。
- 事務局： 日曜日開園の保育園等につきましては人口増加の対策として参考にさせていただきます。
- 篠田委員： 民間の認可保育園は千葉ニュータウン区域内ではなく、多くが市街化調整区域に設置されている。都市計画の課題と思われる。
- 吉村会長： 国際化推進事業で外国人に対するアンケートは、どのような言葉で実施するのですか。
- 事務局： アンケートは書面で英語、中国語、韓国語、ベトナム語の4か国語とやさしい日本語で実施する予定です。
- 吉村会長： 他にありませんか。無いようでしたら、議事(1)はこれで終了とさせていただきます。
- 本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいた
- します。
- 事務局： それでは以上をもちまして、平成30年度第3回印西市総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

資料 1 第 8 次実施計画（案）

資料 2 第 8 次実施計画の概要

資料 3 第 8 次実施計画事業一覧

平成 3 0 年度第 3 回印西市総合計画審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成 3 1 年 3 月 2 9 日

委 員 五十嵐 新一

委 員 海老原 稔